

モダンBaaS (Backup as a Service) に移行すべき3つの理由



概要

巧妙化するサイバー脅威からデータを守りながら機敏性を維持するために、多くの企業がITのDIY (Do It Yourself) アプローチから脱却し、クラウドの採用を加速しています。クラウドベースのソリューションの多くは、運用のオーバーヘッドを削減することで費用を抑えることができますが、サイバーレジリエンスを強化したり、ハイブリッド環境やマルチクラウド環境への移行に対応したりするには不十分なものが多くあります。最新のBackup as a Service (BaaS) で、データ管理のアプローチをモダナイズし、ビジネスの回復力を維持することができます。そしてこれは、データの保存、シンプル化、安全のための理想的な方法です。



1. バックアップをシンプルにし、ハイブリッドやマルチクラウドへの移行を容易に

オンプレミスとクラウド環境にサイロ化したデータの管理は複雑で、ITに不必要なストレスを与えます。また、断片化したデータ管理アーキテクチャは、サイバー犯罪者が悪用できる攻撃手段を拡大させます。本来であれば、イノベーションに費やすべきITの時間が、複数のポイント製品を管理することに費やされてしまいます。分散型データベース、Kubernetes、SaaSアプリなど、サポートされていない新しいデータソースを扱うレガシー製品の能力にすでに不安を感じているIT部門は、クラウドへの移行を要求されることが多くなっていますが、簡単に進められるものではありません。ハイブリッドクラウドとマルチクラウドにまたがって、セルフサービス管理とSaaSプロバイダー管理の両方のインフラを単一のマルチクラウドプラットフォームでサポートできるソリューションは、下記の理由で、ビジネス上、理にかなっています：

- ハイブリッドクラウド向けに構築され、無制限に拡張可能な単一のマネージドBaaSソリューションなら、管理の複雑さが軽減されます
- 事前定義されたポリシーとワークロードの自動検出をサポートするシンプルで直感的なGUIを活用したエンタープライズ向けのデータ保護ソリューションなら、時間を節約し、付加価値の高いイノベーションに集中することが可能になります
- 不要なデータコピーをなくし、クラウドでデータを保護しながらも、オンサイトでもオフサイトでも効率的かつ安全にデータを移動できます
- 開発者とデータアナリストが、セルフサービスで、企業の実データからインサイトを発見することを可能にします



2. イミュータビリティと厳格なアクセス制御でサイバーレジリエンスを強化

クラウドはデータを保存するのに便利な場所ですが、サイバーセキュリティの脅威から免れることはできません。設定ミスや不十分なID、認証、アクセス管理、安全なクラウドアーキテクチャの欠如など、クラウドのデータを危険にさらす可能性があります。

ゼロトラストの設計原則に基づく最新のクラウドバックアップソリューションは、サイバーレジリエンスを強化するのに役立ちます。イミュータブルな (変更不可の) スナップショットは、厳格なアクセス制御 (多要素認証、きめ細かい役割ベースのアクセス制御、柔軟なキー管理システム) と組み合わせることで、悪者がクラウドベースのデータにアクセスしたり破壊したりすることを阻止します:

- モダンBaaSでオンプレミスとクラウドのデータを保護します。重要なことは、データがどこにあっても、ランサムウェアの標的にならないようバックアップデータを守ることです
- データを別の環境に隔離して、データセキュリティを強化します
- 最小権限の原則で不正なアクセスを阻止します
- 先進的なクラウドサービスを利用し、コンプライアンスの確保とビジネスリスクの低減を図ります



3. 不確実な時代におけるコストの予測可能性とビジネスの俊敏性の獲得

従来のバックアップとリカバリのポイント製品では、CapEx予算と長い調達サイクルが発生し、今日の予測不可能なビジネス環境に適合しません。フォークリフトアップグレード (システムまるごとの交換)や、定期的なパッチ適用、レガシーバックアップソリューションに必要なメンテナンスなどに伴うダウンタイムは、好ましい時間とは言えません。資金を温存し、コスト管理を改善するため、組織はモダンBaaSソリューションを取り入れて、下記の利点を得ることができるCapExモデルへの移行を加速しています:

- OpExコストモデルのすぐ使えるバックアップサービスにより、CapEx、調達の手間、インフラのメンテナンスコストを削減できます
- シンプルで予測可能な容量ベースの価格へ移行できます。計測しやすいフロントエンド容量ベースです。
- オールイン価格と継続的な機能アップデートにより、アップグレードや更新のコストを削減できます
- ユーザーが必要とする場所で、調達や導入の長いサイクルを待たずに、オンデマンドで容量を増減させることで、ビジネスの俊敏性を向上させることができます

さらに詳しく知る

世界的な不確実性とサイバー脅威の増大の中で、データセキュリティとデータ管理ソリューションはあなたを確実にサポートしてくれます。SaaSアプリケーションを保護するために別のポイント製品を導入する必要がないよう、最新のBaaSを選択してください。Cohesityの業界をリードするバックアップソフトウェア、Cohesity DataProtectは、Amazon Web Services (AWS) 上でサービスとして提供され、クラウドネイティブのSaaSモデルで使いやすく、真のハイブリッドクラウドの柔軟性を実現します。クラウド用に後付けで機能を追加したレガシーのバックアップソリューションから、サービスとして提供されるモダンなCohesity DataProtectに移行することで、先進のAWSサービスを使用してデータをバックアップし、より多くのことが容易に行えるようになります。サインアップし、接続し、データを保護してください。あなたの組織でもこれら利点をすぐに手に入れることができます。

サービスとして提供しているCohesity DataProtectの無償評価版は[こちらからお申込み](#)いただけます。

COHESITY



© 2023 Cohesity, Inc. All rights reserved.

Cohesity、Cohesityのロゴ、SnapTree、SpanFS、DataPlatform、DataProtect、Helios、およびその他のCohesityのマークは、米国および/または海外におけるCohesity, Inc.の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、関連する各企業の商標である可能性があります。本資料は、(a) Cohesityと弊社の事業および製品に関する情報を提供することを目的としています。(b) 本資料が作成された時点では、真実かつ正確であると考えられていますが、予告なく変更されることがあります。(c) 本資料は、「現状有姿」で提供されます。Cohesityは、いかなる種類の明示的または黙示的な条件、表明、保証も放棄します。